

軽症・無症状者の宿泊療養などで配慮すべきこと

入口の扉を起点に部屋の広さ、ベッド、洗面所の位置関係を説明してください。最後に必要に応じて入口から壁沿いに確認してもらえるとわかりやすいです。

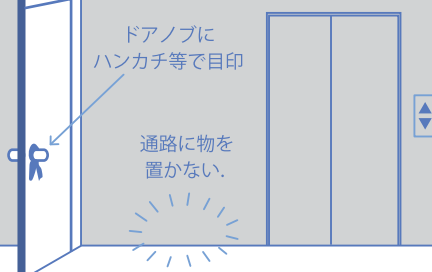
ベッドの横の扉がトイレとお風呂です



移動がしやすいエレベーター近くの部屋が適切です。

ドアノブにハンカチ等で目印

通路に物を置かない。



合理的配慮のための情報確認は、丁寧な言葉遣いで行い、守秘義務は徹底してください。

洗浄ボタンに凸シール

凸シールや点字シールでスイッチなどに目印

ゴムで目印



お弁当とヨーグルト
お茶が入っています



お風呂場での注意と確認

つまずきや転倒等の危険が生じないよう整理整頓をしてください。石鹸の置き場所に注意してください。お風呂のお湯の設定温度を確認し、便器とトイレトーパー、水を流すボタンの位置、温水洗浄便座の操作方法等を丁寧に説明してください。

目印・表示の工夫

ドアノブにハンカチを巻いたり、ポットのスイッチなどに色や触覚でわかるシールや点字シールを貼ると、認識しやすくなります。シャンプーとリンスはどちらかにゴムを巻くか、メーカーが提供する点字シールを貼ると区別しやすくなります。

お弁当の受け渡し

手渡しの場合は中に入っているものを説明してください。箸やスプーンはひとまとめにビニールの袋に入れておくとわかりやすくなります。お弁当に限らず、手渡しができない場合はドア付近に置き、内線電話で内容を知らせてください。

医療従事者と支援スタッフのためのサポートガイド

「視覚に障がいのある方が

* 新型コロナウイルスに感染し入院したら *

[COVID-19]

コロナにかかってしまった
これからどうなるのか
とても不安...

こんにちは！
私がお部屋へ
ご案内します



障がいの程度や症状は、ひとりひとり異なります。



健全な見え方



中心暗点



視野狭窄



まぶしさ(羞明)



全盲

作成・お問合せ先：令和2年度厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合事業
「障害のあるがん患者のニーズに基づいた情報普及と医療者向け研修プログラムの開発に関する研究」班
研究代表者 八巻知香子

国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供部 医療情報評価室

E-mail: medinfo-disability-sec@umin.ac.jp

視覚的な情報が制限されるため、情報を収集すること、空間を把握すること、目的地までの距離や経路を確認することが困難です。コミュニケーションを大切に、柔軟な対応を心掛けましょう。

病院でこんなサポートがあると

見えない・見えにくい方は入院時に安心できます！

まったく見えない人でも、慣れてくると単独で移動できる人もいます。最初に時間を取って、病室・トイレ・ナースステーション等の位置関係を説明してください。

「いつものようにされていますか」と聞くと、相手の方も答えやすいです。

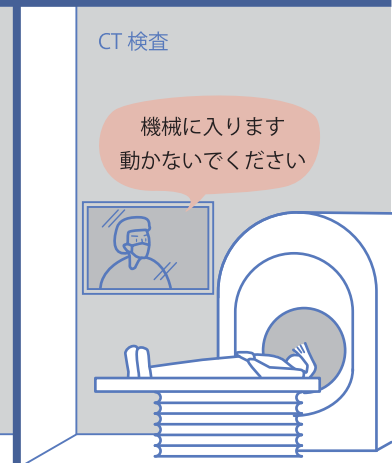
目で見える情報を音に変えて、聞こえる情報に変換することが説明の際のポイントです。



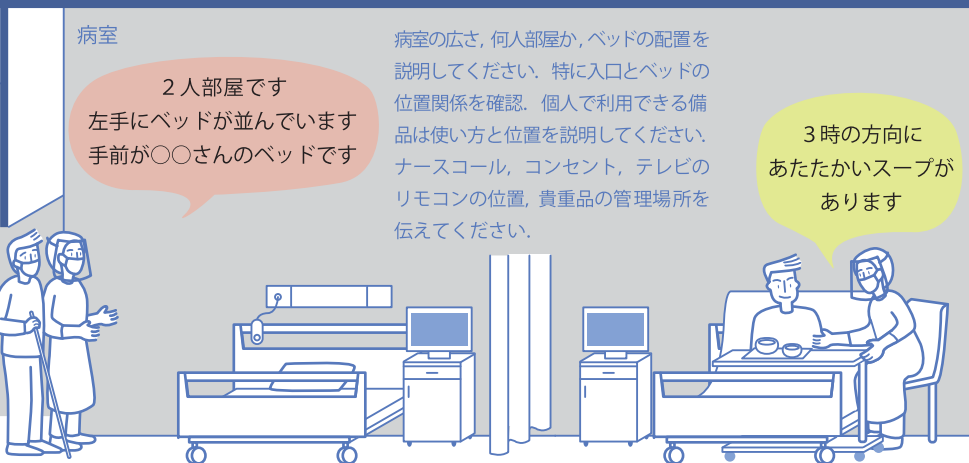
誘導 誘導の際は視覚障がい者の半歩前に立ち、肘の上や身長差によっては、肩や手首をつかんでもらいます。誘導する腕は白杖を持っていない側の腕です。狭いところでは、介助者の腕を背中側に回し、前後一列で歩きます。



診察時のサポート どのような検査を行うのか、検査の流れや所要時間の目安等を説明してください。録音、代読等を提案すると安心されます。複数の資料を渡す際は、それぞれ何の資料かを伝えてください。資料の文字は大きめのゴシック体にする読みやすくなります。



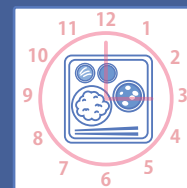
階段での誘導 手すりを使って一人で上り下りしたい人もいます。事前に手すりを利用するかをたずねましょう。一人で昇降したい人には手すりを手を誘導します。階段や段差では始まりと終わりで、一旦立ち止まって声を掛けてください。



病室の位置 移動がしやすいように、ナースステーションの近くや、トイレが室内にない場合はトイレの近くが望ましいです。ベッドは入口に近い方がわかりやすいです。

目印・表示の工夫 入口のドアノブにリボン等を巻くとわかりやすくなります。本人が認識しやすい色の紙等を病室の扉、トイレの入口に貼ることも有効です。案内表示は白黒反転等のコントラストの工夫が効果的です。

食べ物の位置は、時計の文字盤を例にして説明。



同意書の署名 同意書等の重要書類は、拡大文字や録音・点字・データでの提供が望まれます。難しい場合は医療相談室で読み上げるなど、患者さんにあった支援を行ってください。